

第16回ワシントン条約締約国会議 in バンコク(タイ)

日本の固有種が附属書掲載提案にあがっています。

3月3日～14日、第16回ワシントン条約締約国会議がタイのバンコクで開催されます。トラフィック イーストアジア ジャパンは、締約国会議に向けて数回のシリーズでワシントン条約関連情報を各マスメディア関係者の方々に配信することにしました。会議に関する正確な情報の入手や取材にお役立てください。また、ご不明な点や詳細に関してはトラフィックまでお問い合わせください。

今回の会議では、日本にとって大きなニュースがあります。ワシントン条約締約国としての日本の歴史において、はじめて附属書改正提案を提出していることです。(33年間で初！)

提案
34リュウキュウヤマガメ *Geoemyda japonica*

★日本政府による提案！★

野生個体の輸出割当量を0(ゼロ)、という条件付きで附属書Ⅱに掲載

リュウキュウヤマガメ *Geoemyda japonica*

©トラフィックイーストアジアジャパン



種： カメ目 Testudines
イシガメ科 Geoemydidae
分布：世界で沖縄島、渡嘉敷島、久米島のみ
生態：地上性で、溪流沿いなどの湿潤な林床に生息する。雑食性で植物の芽や実、ミミズ、昆虫、陸生貝類などを食べる。産卵数は1度に1個から場合により2個だとみられている。

保全状況

IUCN レッドリスト：絶滅危惧種 (EN)

日本のレッドリスト：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

文化財保護法：1975年天然記念物に指定
捕獲や移動、取引するには許可が必要で、
今まで商業取引への許可は出されていません。

用途

調査の結果、日本の法規則で保護されているにもかかわらず、海外で、ペットとしての利用(市場)が見つかりました。

脅威

生息地域の土地利用変化、あるいは違法捕獲などで種の存続が懸念されています。

海外における日本の生き物の市場とは？

日本の南西諸島には、世界でもそこにしか生息しない様々な固有の生き物が生息しています。

トラフィックは、南西諸島に固有の爬虫類について中国で市場調査をおこないました。その結果、国の天然記念物であるリュウキュウヤマガメ *Geoemyda japonica* のほか、ヤエヤマセマルハコガメ *Cuora flavomarginata evelynae*、クロイワトカゲモドキ *Goniurosaurus kuroiwae*、キシノウエトカゲ *Plestiodon kishinouyei* などの複数の販売/オンライン取引が確認されました。

中国で販売されていたリュウキュウヤマガメの原産国が「日本産」と示されていたり、中には野生採取と明記されたものもありました。



今まで日本は、野生生物の輸入国として位置づけられていました。附属書に掲載されている種の中には、日本の需要がその取引構造を大きく左右しているものも少なくありません。

しかし、今回の日本の提案は、日本固有種が海外の市場に提供されることについて、モニタリングを強化したい、という提案です。つまり輸出国としての立場で、提案を出しました。

アジア各国の経済的な台頭により、世界的な野生生物取引の構造も変化しています。今回の提案も、そのような流れの一つの象徴といえるかも知れません。

トラフィックは 提案に賛成

締約国会議での討議の後、採決し、投票国の3分の2以上の多数があれば採択されます。

トラフィックジャパンの
ここに注目！

日本がはじめて
附属書掲載を提案！

詳しくはウェブで！

CoP16 特集ページ → <http://www.trafficj.org/cop16/>

関連ウェブサイト
トラフィックネットワーク(英語)：www.trafficj.org
ワシントン条約事務局(英語)：www.cites.org

TRAFFIC
the wildlife trade monitoring network

トラフィック イーストアジア ジャパン
(略称：トラフィックジャパン)
TEL:03-3769-1716 E-mail: traffic@trafficj.org